

福岡市におけるインフルエンザの流行状況(2005 年度)

保健科学部門 ウイルス担当

福岡市における 2005/2006 シーズンのインフルエンザ様疾患の集団発生は2006年1月16日(第3週)に始まり、2004/2005 シーズンとほぼ同じ時期からのスタートとなった。流行曲線は発生と同時にピークを示した(図1)。

集団発生は計17施設で発生し、患者数は295人(表1)と、過去5年間の中で最も少なかった(表2)。

感染症発生動向調査においては年度当初、2004/2005 シーズンの患者発生が続いており、17週あたりで終息し

た。

2005/2006 シーズンは2004/2005 シーズンよりやや早い、年末の51週あたりから患者が増加し始めた。2006年第3週に明確なピークを示し、その後終息に向かった(図2)。

集団発生患者数は感染症発生動向調査の患者報告数と同じ時期にピークを迎え、いずれも全国より1週間程度早いピークとなった。

表1 集団発生事例における施設別発生状況

施設	発生施設数	在籍者数	患者数	休校数	学年閉鎖	学級閉鎖
幼稚園	5	152	65	0	1	4
小学校	7	230	121	0	1	6
中学校	3	239	95	0	1	2
その他	2	25	14	0	1	1
計	17	646	295	0	4	13

表2 過去5年間の年度別集団発生患者数

2001	2002	2003	2004	2005
806	813	571	722	295

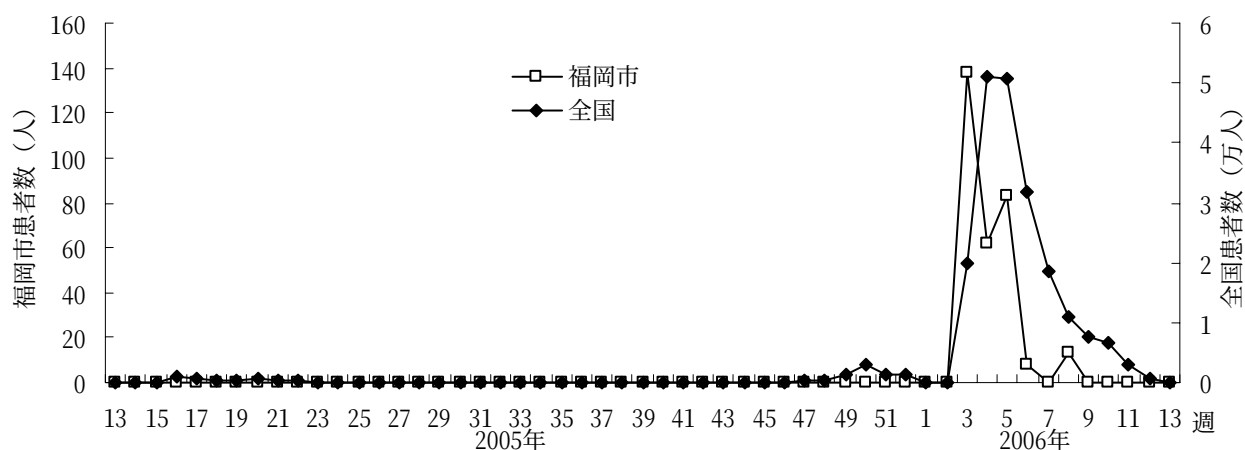


図1 インフルエンザ様疾患集団発生患者数

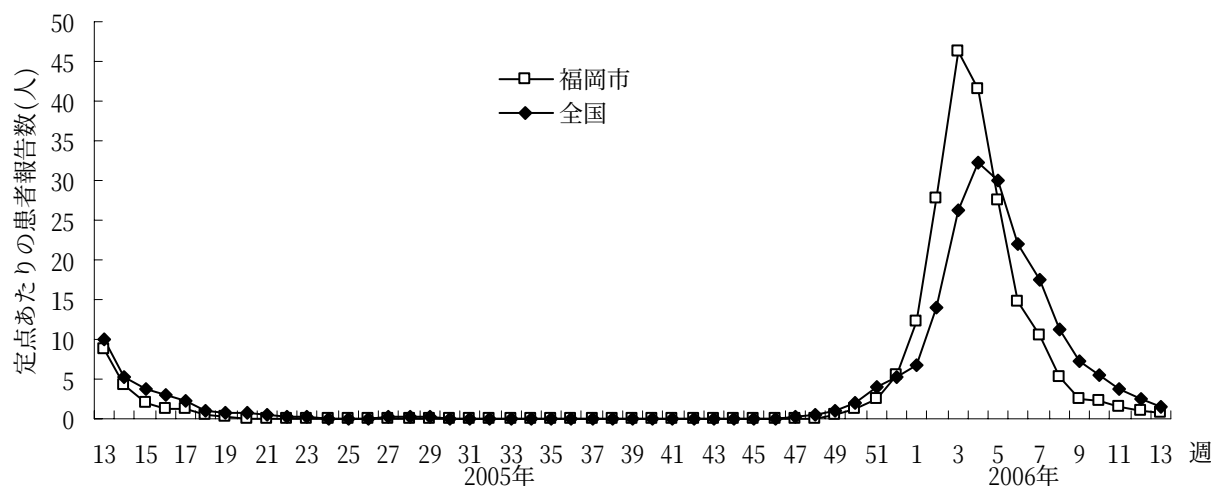


図2 定点あたりのインフルエンザ患者報告数

2005 年度における，感染症発生動向調査からのウイルス分離は AH3 型が 40 株であった．AH1，B 型は分離されず，福岡市における流行は AH3 型によるものと考えられた．

なお分離株の同定には国立感染症研究所配布のフェレット感染抗血清および羊免疫血清を用い，全株 HI 試験によって判定した．

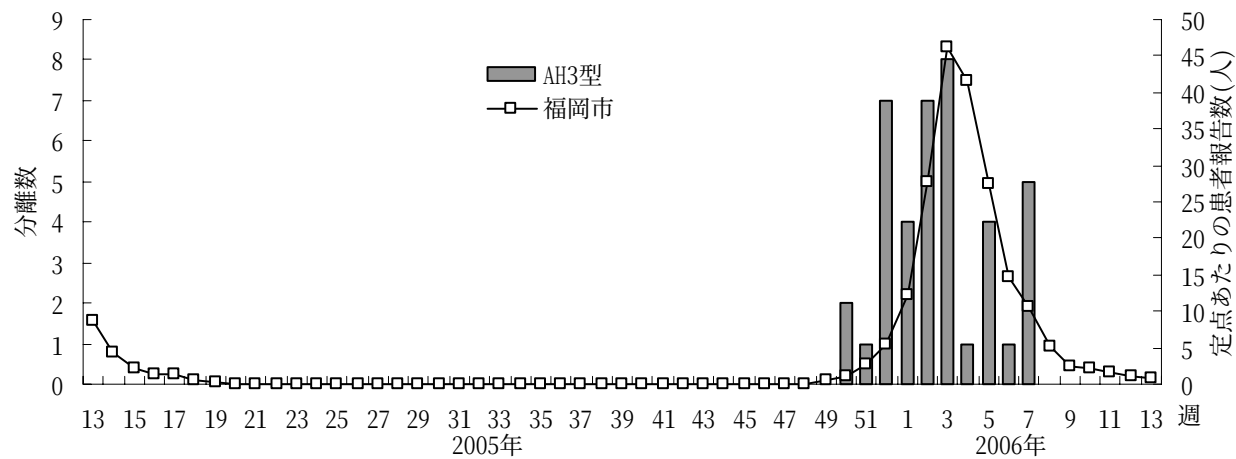


図3 福岡市における定点あたりのインフルエンザ患者報告数とウイルス分離数